

予算特別委員会



令和2年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月11日から13日、16日、17日、23日の6日間にわたり行われ、19日には総括質疑が、24日には討論・採決が行われました。審査の結果議案23件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を付すことを賛成多数により決定しました。

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査するために設けられました。部局別質疑において事業内容などを詳細に審査した後、総括質疑では10人の委員が質疑に立ちました。各委員の質疑に対し、一問一答方式で知事をはじめ執行部から答弁がありました。

部局別質疑

多子世帯応援クーポン事業

Q 配布を受けた世帯の約8割がクーポンとして利用せず、換金請求している。多子世帯を応援することが本来の趣旨であり、クーポンを前提とした現状の取り組みは、その趣旨から外れているのではないかと。産後ケアや家事援助など、クーポンだからこそ利用されるサービスが多くあるため、この事業は有効と考える。

埼玉県コバトン健康マイレージ事業

Q 昨年の本委員会の附帯決議において、参加人数の目標40万人の実現可能性が低いのであれば、予算の縮小も検討すべきであると指摘しているが、予算案は増額となっている。これは、目標人数を超えてさらなる発展が見込めるということか。

A 目標人数の達成は厳しいが、県民の健康づくりを推進するため、スポーツクラブの利用や健康メニューの食事などでもポイントが付与されるよう改善を図っていく。

渋沢栄一翁の大河ドラマ化について

Q ドラマ化を契機に、渋沢翁が馬県を含む県北地域で盛んであった

A 現在、絹をテーマとした周遊ルートを設定し観光振興に取り組んでいる。新たな取り組みとしては、本庄早稲田駅を起点とし、半日で埼玉・群馬の絹遺産をタクシーで巡る企画が4月からスタートする予定であり、より一層の観光振興に努めていく。

コンパクトシティの推進事業について

Q コンパクトシティの推進事業は、市町村の取り組みを促進するとともに、埼玉版スーパー・シティプロジェクトの検討に活用するために行うことになっている。コンパクトシティの取り組みは重要であると考え、コンパクトシティ推進のための立地適正化計画の作成主体は、住民に最も身近でまちづくりの中核的な担い手である市町村であると言われている。この事業は、本来市町村が行うべきと考えるが、なぜ県が行うのか。

A まちづくりの主体は市町村であるが、立地適正化計画を作成している市町村は12市町で少ない状況にある。人材や技術の不足により取り組めない市町村に対し、支援していく。また、医療や福祉、商業施設などは、市町村単位ではなく、広域的な見地で検討する必要があることから、県としてコンパクトシティの推進に努めていきたい。

主な質疑と答弁



新型コロナウイルス感染症対策について

Q 新型コロナウイルス感染症対策について、本県全体の入院可能な病床数は現時点で75床であるが、十分でないと考え、県立病院において、早急に病床を増やしていく必要があると考えるがいかがか。

A 今後、県立病院が中心的な役割を担えるような体制整備を行う必要があると考えている。現在、呼吸器系疾患の患者が入院する特定の一般病棟を新型コロナウイルス感染症患者の専用にし、ほかの患者と切り離すことにより、感染症病床のように活用することなどの検討を進めている。

総括質疑

財政調整のための基金残高について

Q 財政調整のための基金残高の推移を見ると、令和2年度は70億円の見込みとなっている。この見込み額は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しておらず、経済への影響などを考慮すると、高い確率で基金が枯渇するのではないかと推測するが、対策は講じているのか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響も含めて、基金残高の見直しは厳しい状況である。県税収入の確保や国庫補助金の活用、地方財政措置のある県債の充当、コスト削減の努力など、歳入・歳出の両面で取り組みを徹底していく。また、稼げる県民を育てていくことが、将来的に基金残高の復元に貢献すると思われる。

世界ゴールド2020について

Q 世界ゴールド2020については、1億円の支出に対して、2000万円の収入見込みしかない。芸術と予算の妥当性をどう考えるのか。

A 経済面だけで考えれば、ご指摘のとおりである。他方で、高い芸術性を発信する観点からは、世界でも貴重な取り組みであり、日本でも唯一と高く評価されている。このような芸術性について理解をいただくことが、事業に税金を使用する観点からも必要と考える。

主な質疑と答弁

「かおり」と「あまりん」の海外での品種登録について

Q 知事は記者会見で、本県で開発されたイチゴの新品種、「かおり」「あまりん」について、世界進出を目指していると言及していたが、海外での品種登録がなされておらず、輸出機会の損失が生じている。世界で戦うには早急な品種登録が必要と考えるがどうか。

A 「かおり」「あまりん」は、世界で勝負ができるイチゴだと考えている。国内では、県と使用契約を結んだ団体しか利用できないこととなっているが、輸出実績がほぼない。海外での品種登録は、国ごとに1品種当たり1000万〜2000万円の費用が掛かることから、輸出の状況や費用対効果などを見ながら検討する。



その他の主な質疑

部局別質疑から

- 県有施設への公共Wi-Fiの設置
- 会計年度任用職員の報酬
- 防犯カメラの適切な運用と設置
- 食品ロス削減計画の推進
- アウトリーチ事業などによる精神障害者の支援
- 外国人患者受け入れ環境の整備
- 聴覚障害者への情報提供の促進
- 県内大学生の県内企業への就職促進対策
- 下水道資源の有効活用
- 県立学校におけるICT環境整備
- SNSを活用した教育相談
- 交通事故死亡者数減少への取り組み
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業への新たな金融支援

総括質疑から

- 就職氷河期世代を対象とした職員採用試験の費用対効果
- 県有施設エコオフィス化改修事業の妥当性
- 海外サポートデスクの見直し
- 埼玉版FEMAと危機管理対策
- 医療的ケア児への支援
- 大宮スーパー・ボールパーク構想
- 埼玉版SDGsの推進
- 今後の道路整備の進め方
- 新型コロナウイルス感染者フォローアップの体制整備

令和2年度 一般会計予算の概要

当初予算 1兆9,603億1,500万円

歳入		歳出	
県税 40%	775,500,000千円	教育費 25%	490,816,124千円
その他 14%	281,747,204千円	民生費 19%	380,728,403千円
国庫支出金 8%	164,235,796千円	警察費 8%	147,331,176千円
県債 11%	209,837,000千円	土木費 6%	123,581,374千円
地方交付税 11%	218,700,000千円	総務費 5%	94,567,780千円
地方消費税清算金 16%	310,295,000千円		
その他 18%	343,894,066千円		
公債費 14%	267,597,481千円		
商工費 1%	21,801,311千円		
農林水産業費 1%	24,412,237千円		
衛生費 3%	65,585,048千円		

安心・元気のスタートアップ予算

安心・安全しっかり確保 持続可能な成長・発展 誰もがいきいき活躍

- 災害に強い埼玉の構築
- 県民の安全強化
- 医療体制の充実
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に向けた取り組み
- 埼玉の稼げる力の向上
- 未来を見据えた基盤づくり
- 人生100年を見据えたシニアの活躍推進
- 子育て応援埼玉
- 誰もが活躍できる社会の実現

補正予算(第1号) 4億5,327万5千円
● 新型コロナウイルス感染症に係る、県民相談体制の強化、検査・医療提供体制の強化、感染者フォローアップ体制の整備に要する経費

補正予算(第2号) 6億6,636万8千円
● 新型コロナウイルス感染症に係る、医療機関へのマスク配布など感染拡大防止対策の実施、検査体制の強化、中小企業支援に要する経費

令和2年度一般会計予算 補正後累計 1兆9,614億3,464万3千円

県議会クイズ

8面をよーく読んでね!

○に当てはまる言葉は何でしょう。
令和2年2月定例会で、〇〇〇〇費のインターネット公開が決定しました。

はがきに下記のようにご記入の上、6月2日(火)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

プレゼント 図書カード(1,000円分) …20名様

県議会ホームページからもご応募いただけます。

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

330-9301 埼玉県議会事務局

1.クイズの答え
2.郵便番号
3.住所
4.県外にお住まいで通勤・通学先が県内の方は、その市町村名
5.氏名・年齢
6.埼玉県議会だよりに対するご意見

用語解説

※1 多子世帯応援クーポン事業
多子世帯の育児に係る負担を軽減するため、平成29年度から第3子以降の子どもが生まれた世帯を対象に、育児サービスなどに利用できるクーポンを配布する事業。

※2 埼玉県コバトン健康マイレージ事業
ウォーキングや特定健診の受診などでポイントが貯まり、抽選で賞品が当たるなど、楽しみながら手軽に健康づくりができる事業。

予算特別委員会 委員名簿 (令和2年5月27日現在)

副委員長 浅野目 義英 (民主フォーラム)	副委員長 岩崎 宏 (自民)	委員長 小林 哲也 (自民)
-----------------------	----------------	----------------

岡村ゆり子(県民)
高橋 裕裕(無所属)
山口 京子(自民)
高木 功介(自民)
白根 大輔(民主フォーラム)
杉田 茂美(県民)
江原久美子(県民)
松澤 正(自民)
松坂 喜浩(県民)
石川 忠義(県民)
宇田川 幸夫(自民)
浅井 明(自民)
飯塚 俊彦(自民)
横川 雅也(自民)
内沼 博史(自民)
岡田 静佳(自民)
永瀬 秀樹(自民)
秋山 文和(共産党)
小久保憲一(自民)
荒木 裕介(自民)
白土 幸仁(自民)
権守 幸男(公明)
高木 真理(民主フォーラム)
木下 高志(自民)
浦生 徳明(公明)
山本 正乃(民主フォーラム)
柳下 礼子(共産党)
長峰 宏芳(自民)
石渡 豊(公明)

附帯決議

次の事業については、それぞれ懸念があるため、必要性や執行方法について十分検討し、適切に対応するよう求めました。

- 2020年東京五輪文化プログラム育成プロジェクト
- 県内建設産業の育成
- 県有施設エコオフィス化改修事業
- 市民共同発電の普及推進
- 多子世帯応援クーポン事業
- 就職氷河期世代を対象とした新たな職員採用試験
- 埼玉県コバトン健康マイレージ事業
- 海外ビジネスサポート拠点
- 子供世代へのラクビー普及・啓発事業